

—自然を守り、住みやすい地球に—

未来のために
できること



Rich Carey/shutterstock.com

Zero Carbon
Yokohamaに
ついては2・3面へ



市長だより

今年の夏は厳しい暑さが続き、集中豪雨や台風などによる被害も全国各地で発生しました。こうした異常気象や自然災害の原因ともいわれる地球温暖化は、私たちの命にかかわる深刻な問題です。「地球沸騰化」とまで言われる温暖化を食い止め、次世代により良い環境を残すため、横浜市では、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの削減に全力で取り組んでいます。

8月からは、環境にやさしいエコな暮らしを応援するため、エコ家電の購入金額の最大20%をポイント還元するキャンペーン「エコハマ」を開始しました。また、省エネ性能のより高い住宅への住み替えに最大100万円の補助も行っています。

さらに令和6年10月からは、9区で先行してプラスチックごみの分別リサイクルを拡大します。現在燃えるごみとして捨てられている、例えばストローや歯ブラシ

などのプラスチックのみでできた製品もリサイクルしていくことで、二酸化炭素の排出を大きく減らすことができます。地域の皆様に丁寧にご説明しながら、市全域での実施を進めていきます。

環境危機という地球レベルの大きな問題に対応するには、お一人おひとりの行動が欠かせません。電気をこまめに消す、マイバッグを使う、使い捨てのプラスチック製品は使わないなど、暮らしの中ですぐに実践できます。未来のために、一緒に行動しましょう。

2027年には、横浜で初めての万博「GREEN×EXPO 2027」を開催します。温暖化などの地球規模の問題をともに考え、自然の力を生かした脱炭素社会の姿を示していく博覧会です。市民の皆様と積み上げた環境危機への行動の成果を、横浜から世界に発信していきましょう。

横浜市長 山中竹春

横浜市版

16面 データで子どもたちの安全を守る!! —こども・交通事故データマップ—

各種手続・窓口案内
市営交通の案内など

横浜市コールセンター（毎日8時～21時）
☎664-2525 ☎664-2828

横浜市コールセンター 検索

区役所の
開庁時間

●平日8時45分～17時（祝日・休日・12月29日から1月3日を除く）
※昼の時間帯はお待たせする時間が長くなる場合があります。
●毎月第2・4土曜日 9時～12時
（戸籍課・保険年金課・こども家庭支援課の一部の業務）

横浜市データ
2023年
9月1日現在

人口 3,772,440人
世帯数 1,798,741世帯
横浜市 推計人口・世帯 検索

自然を守り、住みやすい地球に

Zero Carbon Yokohama

横浜市では2050年までの脱炭素化を目指しています

今年の夏は、「地球沸騰化」と言われるほど猛暑が続き、各地で集中豪雨・大型台風による被害が相次ぎました。温暖化が進むと、こうした異常気象や自然災害が増え、「気候危機」と呼ばれるような状態となり、生態系・自然環境にも影響を及ぼします。

住みやすい環境を未来に引き継ぐために、できることを考えてみませんか。

脱炭素って何？

二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林管理などによる吸収量を差し引いて、排出実質ゼロを目指すことです。人や企業の活動により、大量に排出される温室効果ガスが大気中の熱を閉じ込めることで、温暖化が進むとされています。

毎日の生活から始めよう！

家庭でできる 脱炭素の取り組み

日常生活における、家電などに由来する家庭部門からのCO₂排出量は、市域全体の排出量の約3割と、最も高い割合を占めています。*

日々の暮らしの中で生活習慣を見直すことが、地球温暖化対策につながります。脱炭素で地球にも人にも優しく、快適な暮らしを目指しましょう。

※2021年度横浜地域の温室効果ガス排出量(速報値)

【問合せ】温暖化対策統括本部調整課 ☎671-4884 ☎663-5110

イラスト中の数値は年間CO₂削減量です。

イラスト内数値出典…【エコ家電(エアコン・冷蔵庫・LED照明)】「スマートライフおすすめBOOK2022年度版」(一般財団法人家電製品協会)をもとに、エコハマ対象商品(令和5年4月時点)の平均値と比較して作成。【エコ家電以外】「ゼロカーボンアクション30」(環境省)

省エネタイプエアコンなら ▼約52kg/台削減
10年前の型より1台当たり
年間電気代が約3,600円お得に！

サステナブル
ファッション高断熱
樹脂製サッシ

電球形LED照明器具なら ▼約37kg/台削減
年間電気代が約2,500円お得に！

マイバッグ

リユース・
リサイクル

実践しましょう！



使い捨てのプラスチックをみんなで減らしましょう

プラスチックを燃やすと、温室効果ガスを多く排出するため、地球温暖化の要因となります。繰り返し使える製品を活用することが大切です。

【問合せ】資源循環局3R推進課 ☎671-3593 ☎550-3510

使い捨てのスプーンやフォークは、
必要な分だけ受け取りましょう



お箸やスプーンを用意するなど、
繰り返し使える製品を活用しましょう



令和6年10月から9区*でプラスチックごみの分別を拡大します！

*旭区、泉区、磯子区、金沢区、港南区、栄区、瀬谷区、戸塚区、中区

現在、分別収集を行っている「プラスチック製容器包装」に加え、ストローや歯ブラシ、ラップなどプラスチックのみでできた製品を「プラスチック資源」として一緒に回収し、リサイクルを行います。令和7年4月からは全市域で実施します。詳細は今後説明会などでお知らせします。

【問合せ】資源循環局政策調整課 ☎671-2503 ☎550-4239



エコ家電

省エネ性能の高いエコ家電への買い換えを応援します

エコハマ
横浜市
エコ家電 応援キャンペーン

エコハマ(横浜市エコ家電応援キャンペーン)実施中
家電製品は、年々省エネ性能が上がっています。長く使っている家電を最新のエコ家電に買い換えることは、家計負担の軽減だけでなく、温暖化対策にも大きな効果があります。

【申請期限】2024年1月31日(水)まで(予算上限に達した場合は終了します)
【対象家電】一定の省エネ基準を満たしたエアコン、冷蔵庫、LED照明器具
【還元額】本体購入価格(税抜)の20% (一台当たり最大3万円分)をポイント還元
【問合せ】エコハマお客様専用コールセンター
☎900-3750 (2024年2月14日まで、毎日10時~18時) ☎277-1422 (耳の不自由な方専用)



詳しくはこちら



省エネ住宅

子育て世代の省エネ住宅への住替えを応援します

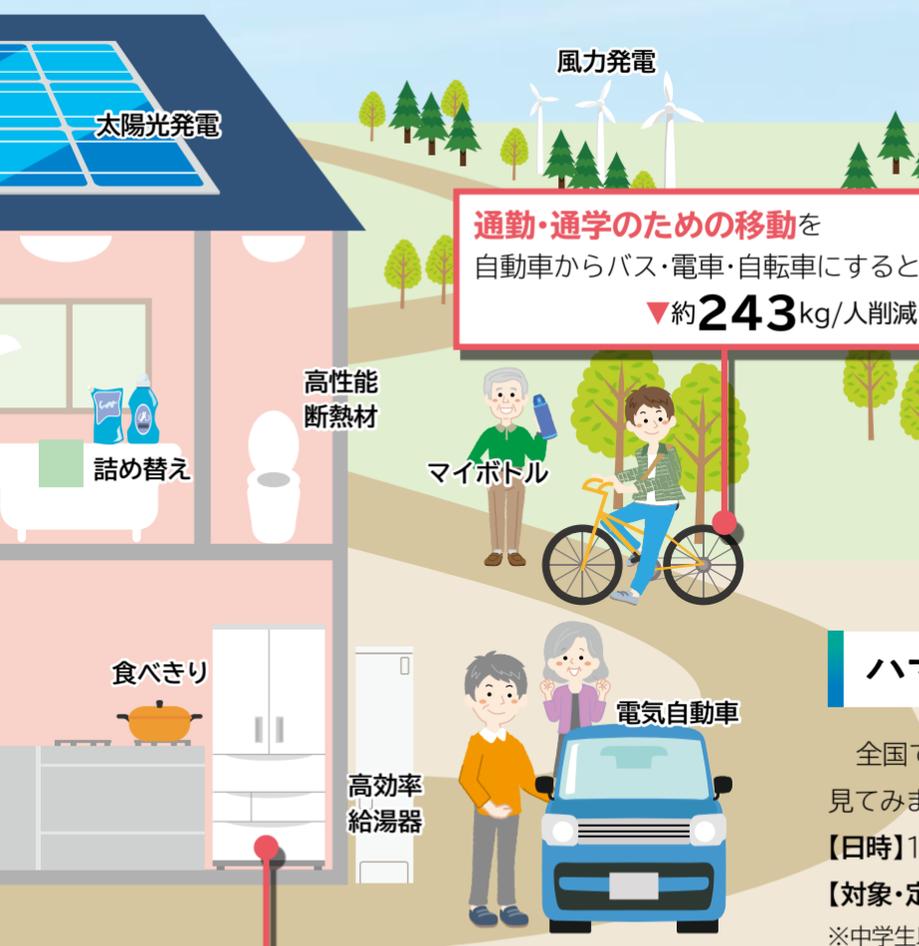
省エネ住宅住替え補助 実施中

高断熱・高気密な省エネ住宅は、少ない冷暖房で家中の温度差を少なくすることができ、1年中快適に、そして経済的に暮らせます。補助要件など、詳しくはウェブページを確認してください。

【補助額】最大100万円(基礎額70万円+市外から転入の場合30万円を加算)
【問合せ】建築局住宅政策課 ☎671-2922 ☎641-2756



詳しくはこちら



太陽光発電
風力発電
高性能断熱材
詰め替え
マイボトル
電気自動車
高効率給湯器
食べきり

通勤・通学のための移動を
自動車からバス・電車・自転車にすると
▼約**243kg/人削減**

省エネタイプ冷蔵庫 ▼約**88kg/台削減**
なら10年前の型より
年間電気代が 約**6,000円**お得に!

市民1人当たりが、1日に家庭から排出するCO₂は3.4kg(500mlペットボトル約3,400本分)になります。私たちの生活における小さな心がけは、脱炭素に大きく貢献します。



CO₂
3.4kg

=



ペットボトル
(500ml)
3,400本分

※市域における家庭部門の温室効果ガス排出量(465万トン/2021年度)から算出

ハマウイング 秋の見学会を開催します

全国でも数少ない都市型立地の大型風力発電所を間近で見てください。

【日時】11月26日(日)9時から13時30分頃まで(4回開催)
【対象・定員】抽選計約280人
※中学生以下は、保護者(高校生以上)の同伴が必要です。
【申込期限】11月15日(水)までにウェブページで
【問合せ】環境創造局環境エネルギー課
☎671-2681 ☎550-3925

広報よこはまPlusでは、ハマウイングについての記事を掲載しています。





環境にやさしい港づくりをすすめています

臨港パーク(西区)では、光合成によりCO₂を吸収する「ブルーカーボン」としての機能も担う「藻場・浅場」の整備を行っています。光がたくさん届くよう、海底に盛土等をして水深の浅い場所をつくり、そこにアマモや貝類等が生息することで、赤潮の発生原因となる窒素やリンを吸収し、水質を改善させます。また、稚魚の成育や産卵の場となるなど、生物多様性を向上させます。

【問合せ】港湾局整備推進課 ☎671-7342 ☎550-3598



断面図(イメージ)

護岸 既存の地盤 → 護岸 新たに盛った砂と土

市内の保育所等の情報が一括検索できるサイト

「えんさがしサポート★よこはま保育」を開設

横浜市では、保護者の園選びを支援し、希望園の選択肢を広げることを目的に、各園のきめ細かい情報を提供する「えんさがしサポート★よこはま保育」を開設しました。

横浜市内の認可保育所、認定こども園、地域型保育事業、幼稚園などを網羅し、各園の昨年度の募集人数や申込人数、園の写真など園選びの参考になる情報が満載です。



サイトはこちら



令和6年4月からの保育所等の利用についての申請受付期間は

郵送・窓口ともに**10月10日(火)～11月6日(月)**です

※締切日を過ぎると受付ができないため、余裕をもって申請してください。



利用申請についてはこちら

問合せ 「えんさがしサポート★よこはま保育」について 子育て・教育課 ☎671-4469 ☎550-3606
令和6年4月からの保育所等の利用申請について 子育て・教育課 ☎671-0253 ☎550-3942

市の財政状況をお知らせします

令和4年度一般会計決算

令和4年度一般会計の決算額は、**歳入は2兆815億3,100万円、歳出は2兆541億1,300万円**となりました。「子育て・教育」「福祉・保健・医療」「道路・公園の整備」など、市の基本的な行政サービスを行う一般会計の決算概要をお伝えします。



決算についてはこちら

※項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、差引額は一致しない場合があります

令和4年度決算の実質収支額は…

152億6,200万円の黒字

実質収支は市に入ってきたお金(歳入)から、使ったお金(歳出)と、次の年に繰り越すべきお金(繰越金)を差し引いた金額です。

市税決算額は…

8,672億7,600万円

3年ぶりに前の年から増え、過去最高となりました。市税は歳入の約4割をしめています。

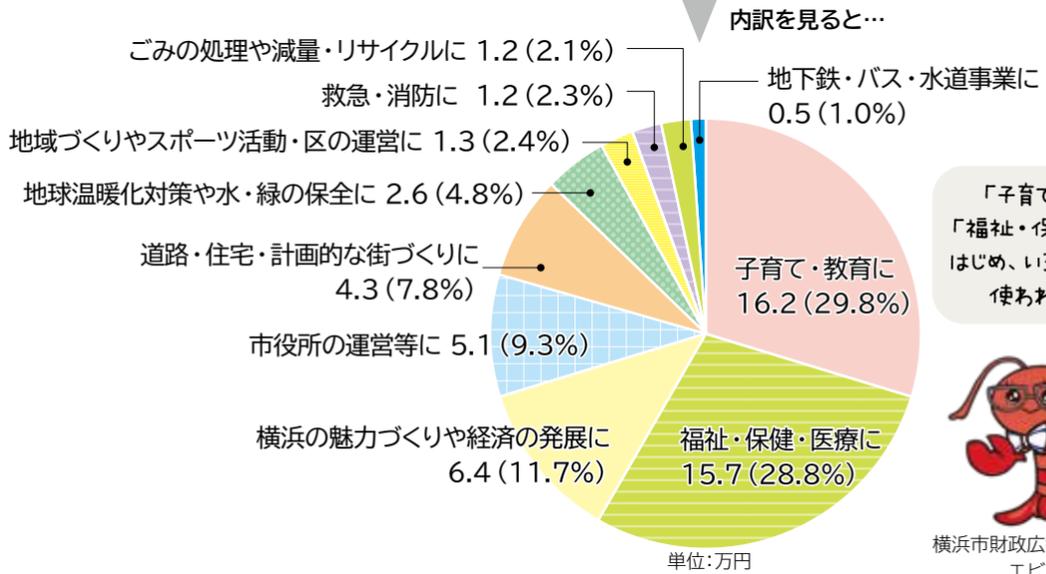
一般会計が対応する借入金残高は…

3兆1,142億円

昨年比170億円減

皆さまに納めていただく市税などで返していく借入金のことです。市民1人当たりだと約83万円です。

市民1人当たりの歳出決算額 **54万5,051円**



「子育て・教育」や「福祉・保健・医療」をはじめ、いろいろ分野に使われています。



横浜市財政広報のマスコット エビちゃん

注1:それぞれの分野の計数には、事業の財源として、過去に発行した市債の返済額を含みます。
注2:「地下鉄・バス・水道事業」は、公営企業会計への繰出金です。

今後は?

人口減少や少子高齢化が進むことにより市税収入の減少と社会保障経費の増加が生じ、本市の財政状況は更に厳しくなることが予測されています。「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」にのっとり、持続的な市政の実現に向けて努力していきます。



財政ビジョンについてはこちら

問合せ 財政局財政課 ☎671-2231 ☎664-7185

連載コラム 第4回

横浜 特別市

横浜市は特別市を目指しています!

横浜市は他の政令市と共に、法律で「特別市」の制度をつくることを国に提案しています。「特別市」は、横浜市が市内の仕事すべてを担うことで、神奈川県との間で生じている仕事の重複や非効率な分担をなくす仕組みです。



ウェブページ

X (旧Twitter) アカウント名 @ykhm_daitoshi

仕事に応じた税制を

横浜市をはじめ政令市は、市の仕事に加え、法令により児童福祉や公衆衛生、道路、都市計画などの仕事を道府県に代わって行っています。しかし、それらの仕事を行うための財源となるべき税との関係では不均衡があり、横浜市の場合、毎年400億円ほどの差が生じています。

住民税など地方税は自治体固有の財源であり、その仕事に応じ公平であるべきです。市内の仕事すべてを担う特別市では、地方税のすべてが市の財源となります。「特別市制度」は、効率的な行政だけでなく、仕事と税の不均衡の改善を目指す提案でもあります。

大都市特例事務に関する税制上の措置状況(横浜市)

(令和4年度予算による概算)



標準的な行政サービスに係る財源は、国による財源調整の仕組みを通じて措置されていますが、大都市の仕事に応じた税制上の措置があるべきです。

問合せ 政策局制度企画課 ☎671-2952 ☎663-6561

はま情報

今月11日以降の、
市や外郭団体などが主催・共催の
事業を掲載しています。

募集

市立学校臨時的任用職員等 登録者募集

教員・栄養職員・事務職員の欠員時に代替勤務。面談後に登録。事前申込制。会場など詳細はWEBで

日 10月28日(土)・11月11日(土)・18日(土)

申 希望日の前日まで

問 教育委員会南部学校教育事務所 (Tel) 843-6406 (Fax) 843-6358)

よこはま保育フォーラム2023開催 保育士としての就業を目指す人募集

保育に関する取り組みの発表・施設紹介・就職相談。会場など詳細はWEBで

日 10月22日(日)10時～15時

問 横浜市社会福祉協議会 (Tel) 201-2219 (Fax) 201-1661)

介護に関する入門的研修 オンライン開催 受講者募集

介護の基本知識。抽選100人。詳細はWEBで

日 2024年3月22日(金)まで、全21時間

申 10月15日まで

問 かながわ福祉サービス振興会 (Tel) 210-0788) か健康福祉局高齢健康福祉課 (Tel) 671-3920 (Fax) 671-3613)

中央職業訓練校 12月生募集

OA経理科(初級)、医療・介護事務OA科 IT・Webプログラミング科、介護総合科、OA経理科(中級)、医療・調剤事務OA科 求職中の人、各科選考。10月中旬に説明会あり。会場・費用等詳細は10月2日からWEBで

申 11月13日まで

問 中央職業訓練校 (Tel) 664-6825 (Fax) 664-2081)

全日本学生音楽コンクール 「横浜市民賞」選定員 募集

16歳以上、抽選計190人。詳細はWEBで

日 11月28日(火)～12月4日(月)

申 10月20日まで

問 にぎわいスポーツ文化局文化振興課 (Tel) 671-3714 (Fax) 663-5606)

高齢者向け優良賃貸住宅 空家待ち登録者募集

市認定の民間住宅。60歳以上。詳細は申込書(10月20日から区役所広報相談係で配布)で

申 11月2日まで

問 丸西建物管理 (Tel) 482-7866 (Fax) 482-7910) か建築局住宅政策課 (Tel) 671-4121)

市営住宅入居者募集

抽選887戸。詳細は募集のしおり(10月6日から区役所広報相談係で配布)で

申 10月20日まで

問 住宅供給公社 (Tel) 451-7777 (Fax) 451-7769)

ユニット型特別養護老人ホーム 入居者募集

要介護3～5の認定者、要介護1・2で特例入所の要件該当者。各選考。①190人②29人。令和6年度開所予定。詳細は問合せかWEBで

①《南区》けいあいの郷 山王台 (Tel) 858-3363)

②《都筑区》ハピネス都筑サテライト(ハピネス都筑内、Tel) 914-8850)

問 各施設か健康福祉局高齢施設課 (Tel) 671-3923 (Fax) 641-6408)

福祉・高齢

ぜんそく個別相談

各日先着。①15歳以上、2人②15歳未満、4人。会場など詳細はWEBで

日 ①11月9日・12月14日・28日・1月11日・25日・2月8日・22日の木曜14時～15時30分

②11月16日・12月21日・1月18日・2月15日の木曜14時～16時30分

申 10月16日から

問 健康福祉局健康推進課 (Tel) 671-3824 (Fax) 663-4469)

講座「聞こえと補聴器」参加者募集

聞こえに不安のある人と家族、各抽選60人

日 11月10日(金)13時30分～16時・17日(金)10時30分～13時・28日(火)13時30分～16時

所 横浜ラポール

申 10月26日までに往か往に【重要事項】希望日、年齢、手話・筆記通訳希望の有無を書いて、障害者社会参加推進センター(〒222-0035港北区鳥山町1752 (Tel) 475-2060 (Fax) 475-2064)

問 申込先か健康福祉局障害自立支援課 (Tel) 671-3602)

かがやきクラブ横浜 特別講演会 参加者募集

心疾患の予防・対策と治療の現状。60歳以上、先着500人。詳細は問合せか10月2日からWEBで

日 12月15日(金)13時30分～15時30分

所 関内ホール

申 10月16日から

問 横浜市老人クラブ連合会 (Tel) 433-1256 (Fax) 433-1257)

講演・講座

講演「歯医者さんへの上手なかかり方」参加者募集

安心して歯科医療を受けるための適切なコミュニケーション。先着300人

日 11月7日(火)14時～15時30分

所 神奈川公会堂

申 10月11日からWEBで

問 医療局医療安全課 (Tel) 671-3654 (Fax) 663-7327)

市大エクステンション講座 「子宮頸がん予防」参加者募集

HPVワクチン接種による予防の最新動向。先着180人

日 11月29日(水)14時～16時

所 情報文化センター

申 10月11日からWEBで

問 市大地域貢献センター (Tel) 787-8930 (Fax) 701-4338)

やさしさを伝えるケア技術「ユマニチュード」講演会 参加者募集

認知症ケアのコミュニケーション技術。抽選140人。詳細はWEBで

日 11月10日(金)10時30分～12時

所 市役所アトリウム

申 10月23日まで

問 健康福祉局介護事業指導課 (Tel) 671-3466 (Fax) 550-3615)

成年後見制度がよくわかる講習会 参加者募集

制度概要・法定後見の申立て手続き方法。各先着90人

日 ①12月4日(月)9時30分～11時50分

②12月18日(月)14時～16時20分

所 ①ウィリング横浜

②健康福祉総合センター

申 10月16日から往か往でWEBで横浜生活あんしんセンター (Tel) 201-2088 (Fax) 201-9116)

講演「犯罪被害にあったとき」 参加者募集

犯罪被害にあった人の心情・現状を知り、支援を考える。先着300人。後日オンライン配信もあり。詳細はWEBで

日 11月29日(水)13時30分～16時30分

所 神奈川公会堂

保 6か月～未就学児(予約制)

申 10月18日から

問 市民局人権課 (Tel) 671-3117 (Fax) 681-5453)

講座「犬の基本的なしつけと災害対策」参加者募集

当日先着50人。ペット同伴不可

日 11月4日(土)13時30分～15時30分

問 会場の横浜市動物愛護センター (Tel) 471-2111 (Fax) 471-2133)

催し

女子バスケットボールWリーグ 市民招待

富士通レッドウェーブ対デンソーアイリス。抽選計200組400人

日 各16時～18時。11月11日(土)・12日(日)

所 横浜武道館

申 10月31日までにWEBで

問 にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 (Tel) 671-4566 (Fax) 664-0669)

横浜肉まつり 開催

ブランド牛の試食、ハマモツ調理販売ほか

日 11月3日(金・祝)11時～15時。荒天中止

所 ブランチ横浜南部市場

問 中央卸売市場食肉市場運営課 (Tel) 511-0446 (Fax) 502-5989)

さかな文化祭 開催

全国の美味しい魚料理の販売、水産体験ワークショップほか

日 11月4日(土)10時～16時。荒天中止

所 山内ふ頭

問 中央卸売市場本場経営支援課 (Tel) 459-3337 (Fax) 459-3307)

国指定重要文化財「関家住宅」 特別公開 参加者募集

都筑区勝田町にある、南関東に現存する最古級・非公開の民家を見学しながら解説。中学生以上、抽選200人

日 11月18日(土)10時～15時

申 10月20日までにWEBで

問 教育委員会生涯学習文化財課 (Tel) 671-3284 (Fax) 224-5863)

食の安全を考えるシンポジウム 「野菜や果物の安全・安心」 参加者募集

先着250人

日 11月25日(土)10時～12時

所 社会福祉センター

保 2歳～未就学児(予約制)

申 10月11日から往か往でWEBで医療局食品衛生課 (Tel) 671-2460 (Fax) 550-3587)

東京湾大感謝祭2023 開催

東京湾の魅力・観光・食材の紹介ほか。詳細はWEBで

日 10月14日(土)・15日(日)10時～17時

所 市役所アトリウム

問 事務局(みなと総研内、Tel) 03-5408-8298) か港湾局賑わい振興課 (Tel) 671-2888 (Fax) 651-7996)

「やっぱり読書の秋」開催

読書に親しみ楽しむための講演・講座、大人向け朗読会・親子おはなし会ほか。詳細は10月5日からWEBで

日 10月24日(火)～11月30日(木)(11月20日除く)

所 市立図書館18館

問 中央図書館 (Tel) 262-7334 (Fax) 262-0052)

戦没者追悼式 開催

事前申込制。横浜駅西口から無料送迎バスあり

日 11月1日(水)11時～12時。荒天中止

所 三ツ沢公園

申 10月20日までに往で健康福祉局援護対策担当 (Tel) 671-2425 (Fax) 664-0403)

10月は骨髄バンク推進月間

血液疾患の患者さんを救うために
骨髄ドナー登録に協力を

問 健康福祉局健康推進課
(Tel) 671-2451 (Fax) 663-4469)



お知らせ

市有地公募売却
価格等詳細は10月上旬から
財政局ファシリティマネジメント推進課 671-2264

令和5年度個人市民税・県民税(第3期)
①納付期限②納付方法のお知らせ

①10月31日(火)まで②スマホ決済、クレジット納付、ペイジー納付、口座振替
居住区の区役所税務課か、財政局
①税務課 (Tel)671-2253 (Fax)641-2775
②徴収対策課(Tel)671-2255 (Fax)641-2775

野毛山動物園ふれあいコーナー
ふるさと納税制度で寄付金募集中

野毛山動物園リニューアルに向けてなかよし広場を先行整備。詳細はWEBで
10月31日(火)まで
環境創造局動物園課 (Tel)671-4124 (Fax)633-9171)

就学援助制度 入学準備費申請のお知らせ

10月中旬発送の就学通知に申請書を同封。2024年4月に市立小学校・義務教育学校へ入学させるのに経済的に困難な人は申請を

10月25日~11月7日
教育委員会学校支援・地域連携課
(Tel)671-3270 (Fax)681-1414)

街頭労働相談会開催

賃金不払い、解雇、ハラスメントなど
各11時~19時
①10月26日(木)・27日(金)②11月10日(金)
①新都市プラザ
②市営地下鉄あざみ野駅改札口前
かながわ労働センター (Tel)633-6110 (Fax)633-5401)

環境アセスメント図書の縦覧

2027年国際園芸博覧会 環境影響評価準備書
意見書の提出は問合先へ
10月25日(水)~12月8日(金)
区役所広報相談係(旭・瀬谷区)、問合先で
環境創造局環境影響評価課 (Tel)671-2495 (Fax)663-7831)

都市計画審議会小委員会開催

都市づくりの方針等を検討。傍聴可。オンライン配信もあり。詳細は10月20日からWEBで
10月27日(金)13時~16時
市役所市会議事堂

都市整備局企画課 (Tel)671-3749 (Fax)664-4539)

市民意見募集中

みなさまのご意見をお寄せください

市民意見募集

①第4期障害者プラン中間見直し(素案)
②第3期健康横浜21(素案)
③第3期国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第4期国民健康保険特定健康診査等実施計画
④観光・MICE戦略(素案)
⑤第2期自殺対策計画(素案)
⑥一般廃棄物処理基本計画(素案)
資料の閲覧は期間中WEBで
①②10月27日まで③④10月2日~31日⑤10月11日~11月10日⑥10月12日~11月10日

①健康福祉局障害施策推進課(Tel)671-3604 (Fax)671-3566)
②健康福祉局健康推進課(Tel)671-2454 (Fax)663-4469)
③健康福祉局保険年金課(Tel)671-4067 (Fax)664-0403)
④にぎわいスポーツ文化局観光振興課(Tel)671-3652 (Fax)663-6540)
⑤健康福祉局こころの健康相談センター(Tel)662-3558 (Fax)662-3525)
⑥資源循環局政策調整課(Tel)671-2503 (Fax)550-4239)

施設から

歴史博物館

改修工事のため休館

10月2日(月)~2024年2月2日(金)
Tel)912-7777 (Fax)912-7781

よこはまポジティブエイジング計画 素案

①説明会
②市民意見募集

高齢者の保健福祉・介護保険・認知症施策の事業計画を策定
①11月10日(金)14時~15時15分②11月1日(水)~12月1日(金)
①市役所1階市民協働推進センター・スペース
②資料の閲覧・配布は期間中、市役所3階市民情報センター・区役所、WEBで
①10月23日から先着60人。詳細は問合せを
健康福祉局高齢健康福祉課 (Tel)671-3412 (Fax)550-3613)

アフリカの開発をテーマにした重要な国際会議が再び横浜に

第9回アフリカ開発会議(TICAD9)の2025年横浜開催が決定!

横浜市は過去3回TICADの開催地に選ばれ、小・中学校とアフリカ各国との交流や、国際技術協力などによりアフリカとの関係を深めてきました。

2025年のTICAD9が安全かつ円滑に運営できるよう準備を進めながら、これまでの取り組みで培ったアフリカとの絆や、GXによる持続可能な都市の実現に向けた取り組みを未来につなげていきます。

※「グリーントランスフォーメーション」の略。脱炭素と経済活性化を同時に実現する持続可能な未来へ向けた取り組み

問合せ 国際局国際連携課 Tel)671-4704 (Fax)664-7145



市内小学生からの手紙と折り紙を受け取ったマダガスカル共和国の子どもたち

アフリカ開発会議(TICAD)とは

日本政府が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)、世界銀行及びアフリカ連合委員会(AUC)と共同で開催する、GXやSDGsなどを含めたアフリカの開発をテーマとした国際会議です。

2019年に横浜で開催した第7回会議には、アフリカ各国や国際機関など世界中から1万人以上が参加しました。

抽選で250人をご招待します

第72回横浜文化賞 贈呈式・記念コンサート開催

市の文化の発展に大きく貢献した人や団体への「横浜文化賞」、文化・芸術の分野で今後の活躍が期待される人や団体への「文化・芸術奨励賞」の受賞者が決定しました。贈呈式とNHK交響楽団メンバーを中心とした「ハマのJACK」による記念コンサートを開催します。

【日時】11月14日(火)13時30分~15時30分 ※コンサートは約30分

【会場】横浜みなとみらいホール 小ホール(西区みなとみらい2-3-6)

【定員】抽選250人(市内在住・在勤・在学者)

問合せ にぎわいスポーツ文化局文化振興課 横浜文化賞担当 Tel)671-3714 (Fax)663-5606



受賞者はこちら

【申込期限】10月13日(金) ※郵送の場合必着

【申込方法】ウェブまたは往復はがき

ウェブ 2次元コードから申込み
往復はがき ①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)④電話番号⑤人数(2人まで)⑥在勤・在学の方は勤務先・学校名⑦手話通訳希望の有無⑧車いすでの来場の有無⑨返信面に住所・氏名を記入

【宛先】〒231-0005 中区本町6-50-10 ※宛名は「問合せ」欄のとおり



申込みはこちら



住民税非課税世帯
価格高騰緊急
支援給付金(3万円)

申請期限 10月18日(水) 必着

【問合せ】専用ダイヤル
Tel)0120-045-320
Fax)0120-303-464
詳しくはこちら



物価高騰に悩む子どもの居場所づくりの取り組みへ
最大5万円を補助します

【問合せ】子ども青少年局地域子育て支援課
Tel)671-4157 (Fax)550-3946

詳しくはこちら





海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は横浜随一のスポーツイベント「横浜マラソン」についてです。



市民の熱い想いで誕生したマラソン大会

横浜マラソン組織委員会事務局

横浜ランドマークタワーをスタートし、市内の観光名所や首都高速道路を駆け抜ける横浜マラソン。今では神奈川県内で最大規模の市民マラソンの一つとして定着した横浜マラソンですが、この始まりは市民の署名活動だったということをご存知でしょうか。

1980(昭和55)年、世界的に市民マラソンプームが広がる中、横浜でマラソン開催を求める市民が中心となり、署名活動が始まりました。署名活動は県内にとどまらず、全国的に呼び掛けられ、集まった署名はなんと103,741人。これを受けて、1981(昭和56)年に第1回横浜マラソン大会が開催されることとなりました。

10km・20kmの2種目で始まり、第12回大会からはハーフマラソンが開始、第33回まで開催されました。そして、フルマラソンを望む多くの声を受け、2015(平成27)年

に待望のフルマラソンとして新たに横浜マラソン2015が開催されました。

そんな市民の熱い想いで誕生した横浜マラソンが今年も10月29日(日)に開催されます。今大会から、ペアリレー、ファンラン(ファミリー)、ファンラン(中学生)の3つの種目が新設されるとともに、給水所ではさまざまな給水パフォーマンスも予定されており、ランナーだけでなく、より多くの方に楽しんでいただける大会となっています。お近くの方は、ぜひ沿道でランナーの応援をお願いします。



▲1981(昭和56)年11月 第1回大会

横浜マラソンを通して横浜とスポーツの魅力を再発見してみませんか。

問合せ 横浜マラソン組織委員会事務局 ☎651-0666 ☎226-5037

横浜マラソン2023 10月29日(日)開催

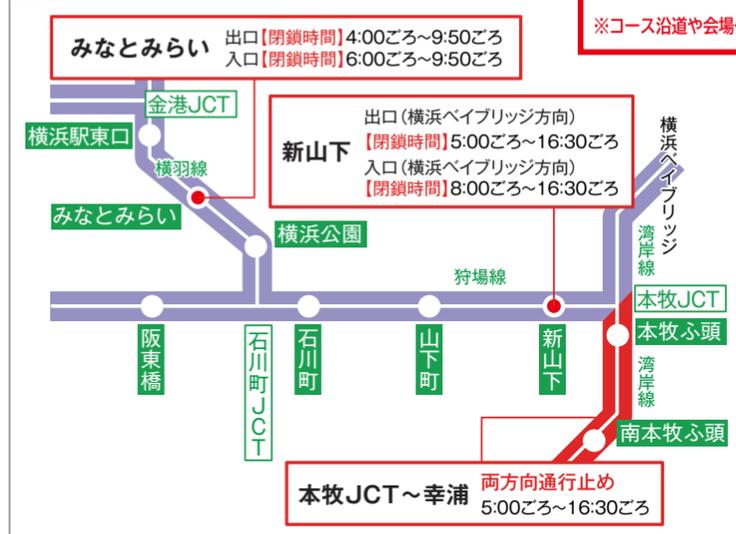
大会開催に伴い、神奈川区・西区・中区・磯子区・金沢区の一部道路で通行止めになる時間があります。首都高速道路の本線・出入口も一部通行止めとなります。



詳しくはこちら

車でお出かけの際はご注意ください。

高速道路の通行止め



横浜マラソン2023開催に伴う交通規制のお知らせ

※コース沿道や会場付近で無人航空機(ドローン)を飛行させることはできません。

一般道規制時間

6:30ごろ～15:30ごろ

首都高速規制時間

4:00ごろ～16:30ごろ



問合せ 交通規制について 交通規制コールセンター ☎330-3051
大会について 横浜マラソン組織委員会事務局 ☎651-0666 ☎226-5037

10月～

新型コロナウイルス感染症コールセンターの受付時間が変更になります。

24時間▶8時～20時(毎日) ☎0120-547-059

時間外の救急相談は救急相談センターへ ☎#7119 または ☎232-7119(ダイヤル回線・IP電話はこちら)



データで子どもたちの安全を守る!!

横浜市では、「子どもの通学路交通安全対策事業」による安全・安心なまちづくりを進めています。今年3月には、警察が保有する交通事故データを活用した「**こども・交通事故データマップ**」を公開し、1日当たり4,500回程度利用いただいています。小・中学生の交通事故が発生した時間帯・天候といった事故の概要を確認したり、発生場所をストリートビューで見ることができます。ぜひ、**ご家庭での危険な箇所の確認に活用してください。**

▽ 2021年	2021年 小学生関係事故
発生月	12月
発生時	17時台
曜日	月
発生場所	横浜市〇区〇〇町1丁目2番
事故類型	人対車両-その他横断中
道路形状	交差点・その他
天候	雨
当事者種別1	自転車
当事者種別2	歩行者

引用:Googleマップ

データマップはこちら



学校での交通安全の取り組みに活用しています



通学路の安全を守るため、地域・小学校・行政が連携

各小学校のスクールゾーン対策協議会※では、通学路上の安全確認を行っており、土木事務所・区役所・警察と連携しながら、交通安全対策を進めています。

※保護者や自治会・町内会、老人クラブ、交通安全協会などで構成される子どもの交通安全対策を進める協議会

〈交通安全対策の例〉



問合せ こども・交通事故データマップについて
学校での交通安全の取り組みについて

道路局交通安全・自転車政策課
教育委員会事務局学校支援・地域連携課

TEL 671-2323 FAX 663-6868
TEL 671-3278 FAX 681-1414

市政へのご意見・ご提案		横浜市LINE公式アカウント		広報よこはまをアプリやウェブで		広報テレビ・ラジオ番組	
手紙	「市民からの提案」と明記し、居住区の区役所へ。市役所や区役所、公共施設に専用封筒もあります。	LINE	QRコード	QRコード	QRコード	テレビ	ハマナビ tvk 18:00~18:30 YOKOHAMA My Choice! FMヨコハマ 9:30~10:00
インターネット	市民からの提案 検索					ラジオ	ホット横浜 ラジオ日本 16:30~16:35 Public Service Announcement Inter FM897 6:12~6:15/12:55~12:58